

さぼサポ 臨時号

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会



発行日:平成 27年5月1日

「さぼコン～若手支援者の意見を聴く会～」レポート

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会の活動を紹介する広報誌「さぼサポ」担当の広報チームです。若手支援者の声を聞き、今後の広報活動に活かそうと平成 27 年 2 月 13 日 16 時から札幌市視聴覚障がい者情報センターにて「さぼコン～若手支援者の意見を聴く会」を開催しました。

30 歳未満、支援経験 3 年未満の「若手支援者」が中心となり、ファシリテーター、参加者ともに同世代による会となりました。

テーマとしては、一日の仕事の流れや年上の支援対象者への対応を軸に話題が広がり、支援者の男女差、アセスメント、作業支援などについて若手らしい熱い議論が交わされました。

終了後には「先輩からの話や経験を聞いてみたい!」「もう少し話がしたい!」など次回開催を希望する声も多くありました。



B グループ



A グループ



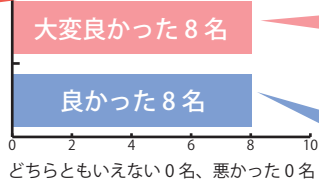
C グループ

アンケート結果

参加の動機は？

- ・同世代の考えや日常の仕事を知りたかった
- ・年齢、経験年数が近く悩みや情報等を共有
- ・上司からの誘い
- ・今後の支援にいかしたい
- ・共通する悩みを聞きたい、話し合いたい
- ・同世代のみのグループに参加してみたかった

内容について

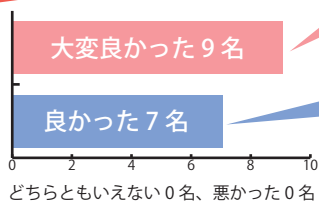


- ・同じ年齢・経験年数の方でも、違った人との関わりを重ねていることが知れた
- ・困っている事の共有
- ・同年代で気軽に話せた
- ・同じような悩みを持っていると知って安心感

「さぼコン」全体の感想

- ・社外の研修に参加するのは初めて。他事業所と情報を共有できた。機会があれば参加したい。
- ・同年代、同業種と話す機会がないので新鮮だった。
- ・同じようなことで悩んでいることがわかった。
- ・今後の支援に役立つような内容の話ができた。
- ・あっという間で、沢山話したかった。楽しく、勉強になった。
- ・柔らかい空気感のおかげで、リラックスして体験することができた。
- ・楽しく、気楽に話し合うことができた。
- ・参加者の年齢が公表されていて恥ずかしかった…
- ・参加できるともよかった。ありがとうございました!
- ・初め緊張感があったが、後半フランクに話すことができた。
- ・事業所の枠を超えて、「若手」という枠で話をする事ができた。
- ・みなさんが真摯に仕事に向きあっている姿を見て刺激を受けた。
- ・各研修で先輩の前で話をするよりも、いい意味でリラックスして、本音が言えた。
- ・息抜きになった。身近な事業所の方々と話せる場として良かった。

グループワークについて



- ・約 6 名の 3 グループで (全体でも 20 名) で少人数だからこそじっくりと自由に話せた
- ・緊張したが、いい経験になった

- ・なかなかない就労系の事業所同士で話し合う機会が持てた
- ・就労支援の違うサービスの中で今後多くを経験していかなければいけないと認識した
- ・色々な考え方があり、興味深かった
- ・共感することが多かった

広報チームが企画し若手構成員がファシリテーターとしてグループワークを行いました。



就労支援推進部会への今後取り組んでもらいたいこと

- ・またやってほしい
- ・今後も経験年数が少ない人同士で話しをしたい
- ・この企画を続けてほしい
- ・若手職員の研修の場、企業の方も交えたグループワークをしてみたい
- ・同サービス同士の会
- ・若手支援者の情報交換会があれば心強い

ファシリテーターから

同じ悩み、喜びを感じながら同年代の方が仕事をされていると思うと、明日からまた仕事を頑張ろうと前向きな気持ちになりました。(山本)

日々疑問に思っていることを同世代の方々と気兼ねなく話すことができ、さぼコンを通じて新たなつながりを作ることができました。(清野)

就労支援に携わる若手の支援者のみの意見交換会という初めての試みで、初めてファシリテーターを務めさせていただきましたが、現場で活躍する皆さんが日々悩みながら手探りで頑張っている様子が伝わってきました。

私自身、経験年数の少ない支援者としてとても勉強になりましたし、良い刺激にもなりました。今後またこのような場があることを楽しみにしています。(本間)

就労支援推進部会今後の予定

- ・5月15日(金) 定例会
- ・6月11日(木)、12日(金) 就労移行支援事業所職員向け研修
- ・7月11日(土) JC-NET ジョブコーチ実践フォーラム in 札幌